

12月 図書館カレンダー
CALENDAR

1日	15:00～	ビブリオバトル
2月	休館日	
3日	火	かもしかーフマラソン 写真展示 ▶12月5日まで
4日	水	
5日	木	
6日	金	
7日	土	パステルアート展 ▶12月6日から12月11日まで
8日	日	
9月	休館日	
10日	火	
11日	水	
12日	木	16:00～ 英語のおはなし会
13日	金	
14日	土	14:00～ 楽しいおはなし会
15日	日	
16月	休館日	
17日	火	
18日	水	子どもの姿写真展 ▶12月13日から12月22日まで
19日	木	
20日	金	
21日	土	10:30～ 読みあそびライブ
22日	日	
23月	休館日	
24日	火	休館日
25日	水	展示 寒冬、あったかい恋しよう ▶12月27日まで
26日	木	
27日	金	
28日	土	休館日
29日	日	休館日
30月	休館日	
31日	火	休館日

図書館休館日

12/28 [SAT]
1/4 [SAT]

年末特別貸出実施

年末は特別貸出を実施しますので、ご利用ください。

	図書・雑誌	映像資料
実施期間	12月14日～27日	12月21日～27日
貸出数	1人10冊まで	1人4点まで
貸出期間	3週間	2週間

※休館中の返却は返却ポストが利用できます。ただし、映像資料、CDなどの付録付き資料、大型絵本、紙芝居、他館から借りた本は開館後に直接窓口への返却をお願いします。

雑誌付録を配付

1/5 [SUN]



2020年カレンダー・手帳、育児雑誌の付録などを希望者に配付します（なくなり次第終了、1人1点限り）。

「読みあそびライブ」

▶12月21日 10:30～11:10



語り手 三浦伸也さん

新着図書から



『環境共生の歩み 一四日市公害からの再生・地球環境問題・SDGs—』
一般書
▶林良嗣・森下英治・石橋健一・日本環境共生学会 / 編
▶明石書店 (519/カ)
日本環境共生学会が2018年に開催したシンポジウムの記録です。「四日市市の公害克服からコンビナート夜景観光まで」と題したパネルディスカッションや野中ともよさんによる記念講演などを収録しています。



『蝶のはばたき、その先へ』
ティーンズ
▶森苺こみち / 著
▶小峰書店 (J913/モ)
突発性難聴で左耳が聞こえなくなった中学2年生の結。親友にも打ち明けられず悩む日々を送っていました。でも、両耳の聞こえない今日子さんや手話サークルとの新しい出会いによって新しい一歩を踏み出していきます。



『桃太郎は盗人なのか?』
児童書
▶倉持よつば / 著
▶新日本出版社 (388/ク)
本書は「図書館を使った調べる学習コンクール」で文部科学大臣賞を受賞した小学5年生の作品です。著者は「桃太郎は盗人だ」と書かれていた一冊の本に衝撃を受けて、全国の桃太郎ゆかりの地を訪ね、桃太郎に関する本を200冊以上も読み比べ、自分なりの答えにたどり着きます。さあ、答えは？読んでのお楽しみですよ。

郷土史・風俗

第69回 宮大工 高木藤造

高木藤造の家
藤造の祖父は田中長三郎といひ、菰野藩領下の山田村（現四日市市）の安正寺門徒でありました。優れた技術を持つ大工であった長三郎は、藩の御用大工を命ぜられ、城下の川原町に移住し、延享2年（1745）3月、朝明郡杉谷村の観音寺（現慈眼寺）の本堂を建立しています。

長三郎から親蔵、藤造、兵三郎と跡を継ぎ、代々大工業を営むようになりまし。また、分家の長右衛門も宮大工として本家を助け、寺社の建築に携わっていました。この藤造の家がある川原町は、お城の北木戸の門に続く町筋で、大工、左官、指物、畳屋、鍛冶屋、車屋、紺屋、など主にお城に出入りする職人の町でありました。



高田本山専修寺の唐門▶

文政7年（1824）に父の親蔵が亡くなり、20歳の藤造は宮大工の家業を継ぐため、近江八幡の名家高木作右衛門光一に弟子入りして寺社建築の技術を学びました。

※1「紺屋」布を染める染物屋
※2「作事方」幕府の建築工事者

藤造の活躍

藤造は師匠のもとで京都御所をはじめ仏光寺などの建立に参画し、天保7年（1836）には一身田高田派本山の如来堂前の唐門の作事方^{※2}を務めました。天保15年（1844）高田派専修寺の唐門を見事に完成させた藤造は師匠の高木姓を名乗ることを許されました。弘化3年（1846）師匠の光一が亡くなり、しばらくは近江八幡の高木家の若主人の後見役をしていました。嘉永4年（1851）菰野藩の江戸屋敷表門の作事方を命ぜられ、八幡表に暇を乞ひ、菰野に帰って藩の御用を務めました。

安政元年（1854）6月に安政の大地震が起き、北勢地方は大被害を受けました。寺の本堂の倒壊も多く、その再建の普請に藤造の活躍のときが訪れました。まず、大強原の随法寺、菰野の明福寺の本堂をはじめ、田光の乗得寺、石樽の照光寺書院、山口の善長寺、中上の遍崇寺、高角の林正寺、川島の西福寺、山田の安正寺などの寺の本堂、山門、鐘楼などにその技を振るいました。藤造は明治20年（1887）10月11日、80歳で亡くなりました。

町長のひとり語

The Story of our Mayor



これらのように学校給食には多くのメリットがあります。

また、食材に地元食材（三重県産、できれば菰野町産）を用いることで、地元の産業についての知識を深めることも期待できます。

当町で実施するデリバリー給食は、温かいものを温かく、冷たいものを冷たく提供します。家庭で作ってもらった弁当ももちろんおいしいですが、肌寒くなるこれからの季節に温かい給食が学校で食べられることは生徒たちにとって大変嬉しいことであると思います。生徒のみならずには好きなものだけでなく、いろいろなメニューを楽しんでいただくと考えていますので、ぜひ積極的なデリバリー給食の利用をお願いいたします。

Theme 09 中学校給食開始

いよいよ当町の中学校でも学校給食がスタートすることになりました。学校給食は小学校でなじみが深いものですが、知っているようで意外と知らない学校給食のあれこれをお話したいと思います。

まず、中学校給食をなぜ実施するのかについてです。これは、食育基本法に基づき中学校での食育をさらに充実させるために実施するものです。食育とは、食についての教育のことです。学校給食の実施によって決まった時間に栄養バランスのよい食事をするという習慣を身につけることができます。そして、食のプロである栄養士が考えた献立により、さまざまな食材や調理方法に触れることができ、好き嫌いをなくすことや、いろいろな食材を食べる習慣を身につけることにも繋がります。